

昔の脱穀大変だあ 国府北小、出前授業で体験

栃木市・大塚田んぼの会

下野新聞

2017年10月4日

# 昔の脱穀 大変だあ

## 国府北小、出前授業で体験

栃木

【栃木】「大塚田んぼの会」(長昌光会長)は3日、国府北小で出前授業を行い、児童たちが田んぼに生息する生き物の調査や脱穀作業などを体験した。同会は、国の農地・水・環境保全向上対策事業の指定を受け



千歯こぎでの脱穀を体験する児童

2008年に設立。市内の農地調査を行いながら、各小学校で出前授業を行っている。同校では地域の教材を生かそうと、09年から毎年春と秋の2回実施して

いる。

今回は4年生49人が参加。児童は、同会が2日に学校周辺の田んぼで採集した昆虫を、図鑑と照らし合わせ生態系などを観察した。また千歯こぎや足踏み式脱穀機を使った脱穀、すり鉢と野球ボールを使つてもみすりなどを初体験。児

童は特に足踏み式脱穀機の使用方に苦心しながら、日本古来の農業文化を学んだ。

石川みか莉さん(10)は「昔の人は作業するのが大変だと思った。一生懸命作ってくれる人に感謝して、これからご飯を食べたい」と話した。(斉藤章人)